

2025 年6月第4週 【6/27 発行】

小学生用教材 G7 サミットがカナダで行われる

模範解答と指導の手引

教材のダウンロード期限について

毎週金曜・朝 7:00 に「ニュース教材を発行しました」のお知らせメールを全ての購読者様にお送りしています。

そのメールで「できるだけ3週間以内に教材をダウンロードして下さい。期間内にダウンロードできなかった場合は、お手数ですが、パスワードをお教えしますので、お問合せ下さい」とお願いをしています。

万が一メールが届いていない方は、tsubaki.yuki1229@gmail.com にお問い合わせください。

Instagram でも毎週金曜に「教材発行しました」のお知らせを出しているのので、フォローしていただければ幸いです。

★椿由紀 Instagram https://www.instagram.com/yuki_tsubaki2020/

この教材の使い方

- 1) この教材はコピーOKです。生徒の人数分、配布してください。
- 2) Zoom などのオンライン授業で、画面共有しての使用も歓迎します。
- 3) 動画は自由に授業でご活用ください。音声ファイル(有料)のリンクは、生徒に送ってご活用下さい。
- 4) Word ファイルは自由に加工可能です。問題の削除、本文や設問の変更、加筆や画像の追加もご自由にどうぞ。
- 5) 設問の言語(英語/日本語)や難度はご自由に調整してください。全てのご要望に個別対応できませんが、アレンジは大歓迎です。
- 6) 文法・スペルミスには注意していますが、万一の誤りは後日 HP に訂正版を掲載します。発見された場合はご連絡いただけると助かりますが、修正してそのままご使用いただいても構いません。
- 7) 全ての教材に暗唱文(重要文法、使える表現を含むキーセンテンス3文)を付けています。「夢タン」著者の木村達哉先生のセミナーをヒントにしています。音読・暗唱は英語上達の近道です。生徒のレベルに応じてご活用ください。(暗唱文のディクテーションまたは発音練習をしてから、本文に入る、という使い方もできます)

参考にした英語記事

<https://www.aljazeera.com/news/2025/6/15/g7-summit-who-is-attending-and-whats-on-the-agenda>

https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/20250616_02/

<https://www.bbc.com/news/articles/cpqnjx1qw9po>

<https://www.france24.com/en/americas/20250616-g7-leaders-canada-mideast-tariffs>

<https://japannews.yomiuri.co.jp/politics/g7-summit/20250617-264428/>

<https://www.theguardian.com/world/2025/jun/16/g7-summit-on-wildfire-watch-for-trumpian-explosions-in-canada>

<https://www.dw.com/en/g7-summit-trump-calls-removing-russia-from-group-mistake/live-72915936>

世界の国旗のイラストをお借りしたウェブサイト

<https://nuripla.com/>

0. 低学年用 英語ニュース

★低学年用のニュース教材は、ニュースに関心のありそうな低学年(小学3年生以下)の生徒さんや、

「時間がないので、正規の小学生教材を要約したものを使いたい」という場合にお使いください。

★1 ページ目には易しい設問をつけているので、「英語でニュースを勉強できた!」という**知的好奇心**を満たしたり、

「質問の答えを、英語で書けた!」という**達成感**を、生徒さんたちに持ってほしいです。

★対象年齢の目安

- 1ページ・・・小学3年生～英語を習いたての5・6年生など(普通の小学生教材が長くて難しそうな生徒さん)
- 2ページ・・・小学1～3年生、園児さん(ニュースに高い関心を持っている小さいお子さん)

★(良く質問をいただきますが)時間がなければ設問を解く必要はないと思います。本文を生徒さんたちと音読するだけで勉強になります。(生徒さんが自分で英語を読めなくても、先生が朗読し、生徒さんがリピートできれば OK)

★本当に時間がなければ、内容を先生が軽く解説し、キーワードを英語で説明してあげてください。

(例) 1 年生は「G7」を「ジーセブン」と読めただけで、拍手。

2～4 年生は、カナダを地図で探し、世界の国旗を覚えて国の名前を英語で言えれば、素晴らしいと思います。

1 ページ

Q1 (Kananaskis,) Canada Q2 (B) Q3 (イラン) (イスラエル)

Q4 表に国の名前を書き込む問題は、次のページを参照してください。

2 ページ

- ★ニュース文を先生が読んであげて、できればリピートしてもらって下さい。
- ★G7 を「ジーセブン」と読めたら、ほめてあげてください。
- ★G7 の 7 つの国々のスペリングを書いて発音し、国旗に色をぬって下さい。
- ★時間があれば、日本の首相の名前を確認し、カナダを地図で探してください。
- ★国旗のカルタなどをするのも楽しいと思います。
- ★世界のあいさつの歌は、私が幼児さん・小学生と、よく歌います。この機会に歌ってみて下さい。

1. 小学生用 英語ニュース

※「小学生用」という名前の教材ですが、中学生、高校生、社会人の授業の、短い ice break の読み物としてもおすすめです。(「中学生用教材」は、中2・中3を対象に作成しているため、少し文が長くて難しめです)

1 ページ

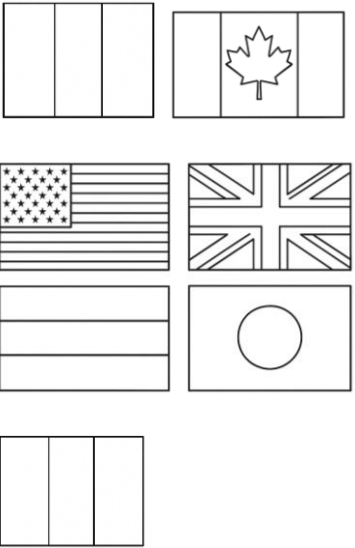
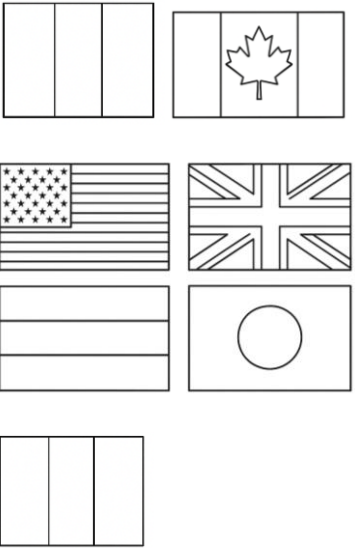
Q1 – In (Kananaskis, Canada). Q2 ☒ (2) Group of 7

Q3 – (Japan) did. Q4 – His name is (Donald Trump).

Q5 – It is (50) years old. Q6 (平和) (貿易) など、世界の問題

Q7 Because a war started between Iran and Israel.／イラン・イスラエルの間で戦争が始まったから。

2 ページ

国 Country	首脳(2025 年)		
Canada	マーク・カーニー首相 / Mark Carney		
France	エマニュエル・マクロン大統領 / Emmanuel Macron		
Germany	フリードリヒ・メルツ首相 / Friedrich Merz		
Italy	ジョルジャ・メローニ首相 / Giorgia Meloni		
Japan	石破 茂総理大臣 / Shigeru Ishiba		
the U.K.	キア・スターマー首相 / Keir Starmer		
the U.S.	ドナルド・トランプ大統領 / Donald Trump		

♪G7 QUIZ♪

Q1 2. Russia

※2014 年、ロシアはウクライナのクリミア半島を軍事的に占領しました。G8 の他の国々は「国際法違反だ」として強く反対し、「こんな野蛮な国は G8 として認めない」と言って、ロシアを除外しました。それ以来ロシアは戻っていません。

Q2 2

※1970年代のオイルショック(石油不足)で石油の値段が急に上がり、世界経済が大きな影響を受けました。
その問題を話し合うために、G7 サミットが始まりました。

Q3 3

※サミットは「山のでっぺん」「もっとも高い場所」を意味します。ところで、国のリーダー(首相や大統領)は、それぞれの国の「一番上に立つ人(トップ)」です。トップが集まる会議だから、「サミット=首脳会議」と呼ばれるようになりました。

小学生クラスのための英語ニュース教材・指導の手引き

■今週のニュース:G7 サミットは、一見すると地味に思われるかもしれませんが、小学生クラスで大変盛り上がりました。子どもたちの好奇心をくすぐりながら、英語と社会(時事ニュース)を楽しく学べて一石二鳥ということを、ぜひ実感していただけたらと思います。

1. 「G7」の“G”とは?ユーモアから始める導入

最初に、「G7 の“G”って何のこと?」と問いかけるだけで、子どもたちは目を輝かせて手を挙げます。

“Grandma 7!!” “Good morning 7!!” “Gorilla 7!!”

…と、愛らしい珍回答が続きます。子どもたちの発想力と言葉のセンスを、ぜひ、たっぷりと褒めてあげてください。
(頭文字がGで始まる英単語を、たくさん思いつくだけで天才的だと思います)

四択問題の形でもよいですが、あえて空欄にして、子どもたちにスペルを書いてもらうのもおすすめです。
子どもたちは「自分の力で考えた」という達成感を得ることができます。

2. G7 首脳の顔ぶれを「ビジュアル」から親しむ

中学生クラスでは、各国首脳の写真を見せて、「この人はどの国のリーダーだと思う?」とクイズ形式にすると、推理ゲームのように楽しんでくれました。

また、女子生徒さんたちからは「イケメンコンテストをしましょう!」という提案があり、見た目や印象を話題にしながら、自然に首脳たちの名前と国名を覚えていきました。
「マカロン大統領って、イケメンだわ!」 「イタリアの首相は美人だわ」 「ドイツの首相は、頭が良さそうね」
「カナダの首相は、警察官みたい!」 ※ちなみに、カナダのカーニー首相は、元、銀行の頭取です。
…そんな素直な感想の中にも、リーダー像に対する興味が芽生えているのを感じました。

3. 小学生から伝えられる「豆知識」

私は中学生に社会を教えることもあります。このニュースは、中学生になってから非常に役に立つことを知っていたため、小学生の子どもたちが興味を持ってくれるように、以下のような説明をしました。

●「G7 は、世界でいちばんお金持ちな 7 つの国のリーダーたちが、地球のいろいろな問題について話し合う会議です。日本もその中に入っているんですよ!」

※(ここで「え~!!日本も、ベスト7に入っているの!?!」という驚きの反応がありました。)

●「毎年、会議を開く場所は、持ち回り制で決められていて、去年はローマ、おとしは広島でした!」

●「中国やインドもお金持ちの国になってきたので、『G7 に加わるべきでは?』という意見も出ていますが、まだ入っていませんね~」

こういう豆知識は、意外と子供たちの心に残るようです。

4. 戦争の話題に触れるときの配慮

イランとイスラエルの戦争については、中学生にはやや詳しく取り上げますが、小学生に話す際は、少し気を付けました。私の塾では、「戦争」のニュースを取り上げるだけで涙ぐんでしまう、心の優しい子が何人かいます。

「私たちは平和な日本に住んでいますが、世界のどこかでは戦争があります。戦争が早く終わるように祈りましょうね」と、子どもたちの不安を煽らないように、穏やかに話すことを心がけるようにしました。涙ぐんでしまう子には、「とても優しくて良い子です」と保護者様にもお伝えするようにしています。